

【科目名】機能性構音障害学		【担当教員】大平芳則							
【授業区分】専門分野 (発声発語・嚥下障害学)		【授業コード】 5-30-1165-0-1		(メールアドレス) ohdaira@nur.ac.jp					
【開講時期】2年次・後期		【選択必修】必修		(オフィスアワー)					
【単位数】1単位		【コマ数】8コマ		月、水、木、金 9:00-17:00					
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) なし (受講のルールに関わる情報・予備知識) なし									
【講義概要】 (目的) 機能性構音障害では、構音の聴覚的判定が大切であるため異常構音の評価が行えるように進める。また、構音操作の観察や構音の誤り方などについても重点的に指導を行なう。 (方法) 正常に獲得される構音や発達途上の構音の誤りについて復習を行なった後に、異常構音について学習をすすめる。異常構音については、聴覚的分析が重要のため、音声サンプルを用いて構音評価ができるように重点的に学習させる。訓練方法についても事例を用いて、構音指導方法を学ぶ。									
【一般教育目標(GIO)】 ・機能性構音障害について検査・訓練を行えるようにする。									
【行動目標(SBO)】 ・機能性構音障害について説明できる。 ・機能性構音障害の検査ができる。 ・機能性構音障害の訓練プログラムを立案できる。									
【教科書・リザーブドブック】 なし									
【参考書】 本間慎治 言語聴覚療法シリーズ7 改訂機能性構音障害 建帛社 2500円+税									
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) ・成績評価基準は、本学学則規定のGPA制度に従う。 ・授業に取り組む姿勢を重視します。頻繁にごく簡単なレポートを課します。									
【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		50		50					100点
評価	取り込む力・知識	50							50
	思考・推論・創造の力								

平成 26～28 年度入学者用

指 標	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢			50					50

【授業日程と内容】

回数	講義内容	授業の 運営方法	学修課題(予習・復習)	時間 (分)
1	オリエンテーション 基礎知識の復習： 発声発語器官の構造と機能 母音と子音の特徴	講義	配付資料の復習	15分
2	構音の発達 構音障害の定義と症状	講義、演習	配付資料の復習	15分
3	イヤートレーニング： 収録音声を聴取	講義、演習	配付資料の復習	15分
4	鑑別診断 構音検査および評価	講義	配付資料の復習	15分
5	評価の実際： 収録音声の聴取と記録	講義、演習	配付資料の復習	15分
6	評価の実際： 記録のまとめと評価	講義、演習	配付資料の復習	15分
7	構音訓練： 概要、一般的注意	講義	配付資料の復習	15分
8	構音訓練： カ行、サ行	講義	配付資料の復習	15分

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。